

令和 6 年度

久留米市民意識調査報告書概要版



1. 調査目的……変化する市民意識の動向と多様な市民ニーズなどを統計的に把握し、今後の市の施策・事業の検討、推進、評価の基礎データとして活用する。
2. 調査地域……久留米市全域
3. 調査対象者……久留米市に在住する満 15 歳以上の人
4. 抽出方法……住民基本台帳から、7,000 人を無作為に抽出
5. 調査方法……調査票を郵送し、郵送またはインターネットで回収を行う
6. 調査期間……令和 6 年 6 月 26 日～7 月 31 日
7. 回収数(率)……3,245 票(46.4%)
(内、郵送 2,061 票、インターネット 1,184 票)

目 次

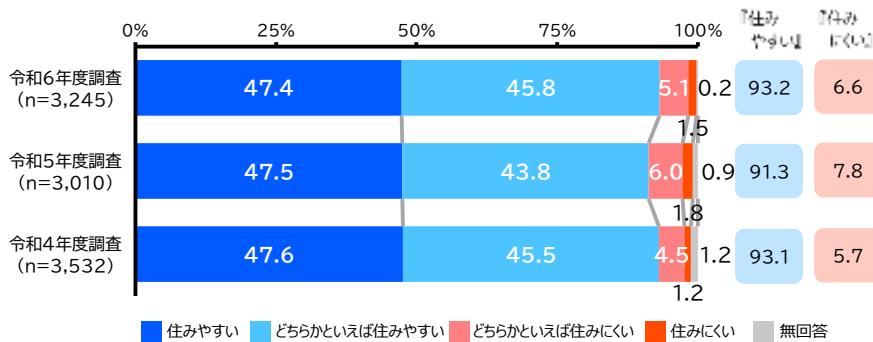
久留米市の住みやすさや愛着度について	1
まちづくりの満足度について	2
ふだんの生活について	3
市の情報発信について	4
環境について	5
文化・芸術の鑑賞や活動について	6
こころの健康について	7



く る め し す あ い ち ゃ く ど 久留米市の住みやすさや愛着度について

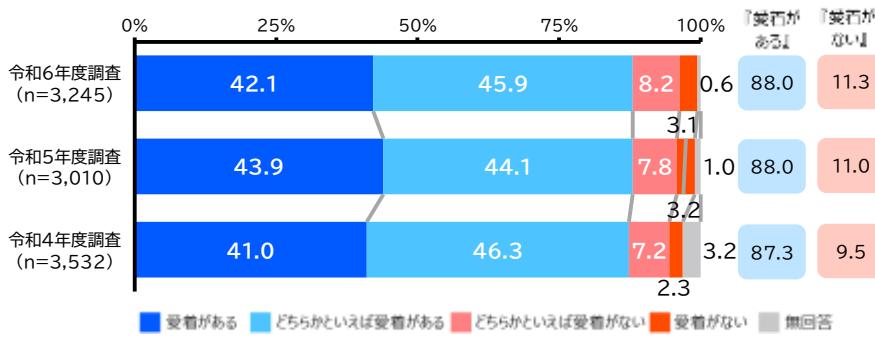
【久留米市の住みやすさ】

久留米市の住みやすさについて、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた『住みやすい』は、93.2%で、令和4年度の調査から続いて9割を超えています。



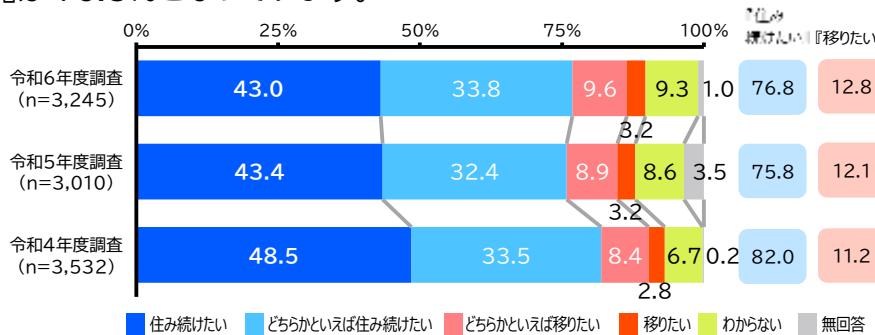
【久留米市の愛着度】

久留米市の愛着度について、「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」をあわせた『愛着がある』は、88.0%となっています。



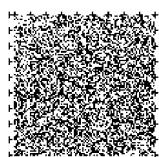
【久留米市の定住意向】

久留米市への定住意向について、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」をあわせた『住み続けたい』は76.8%となっています。



久留米のこと どう思っている?

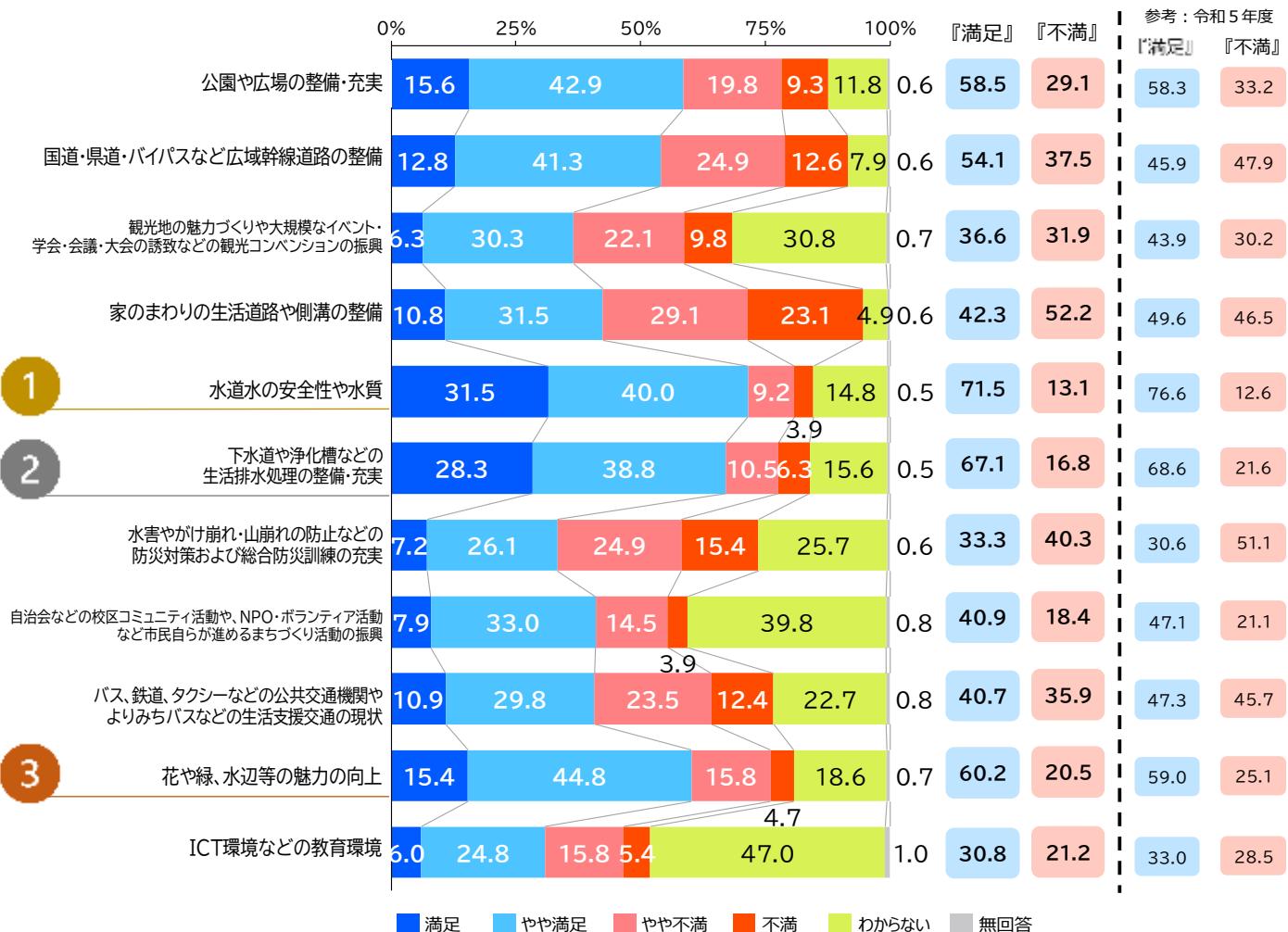
- 1.季節感あふれるまち 85.9%
- 2.心豊かに暮らせるまち 72.2%
- 3.子育てしやすいまち 72.0%



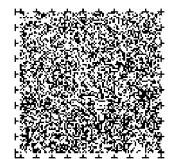
まちづくりの満足度

久留米市が現在取り組んでいるまちづくり政策のうち、11項目をあげて満足度を尋ねました。

「満足」と「やや満足」をあわせた『満足』が最も高いのは、「水道水の安全性や水質」で、次いで「下水道や浄化槽などの生活排水処理の整備・充実」、「花や緑、水辺等の魅力の向上」、「公園や広場の整備・充実」、「国道・県道・バイパスなど広域幹線道路の整備」で、5割を越えています。



「水害やかけ崩れ・山崩れ防止などの防災対策および総合防災訓練の充実」と「国道・県道・バイパスなど広域幹線道路の整備」は、令和5年度調査に比べ、『不満』の割合が10ポイント以上減り、『満足』の割合も増えています。

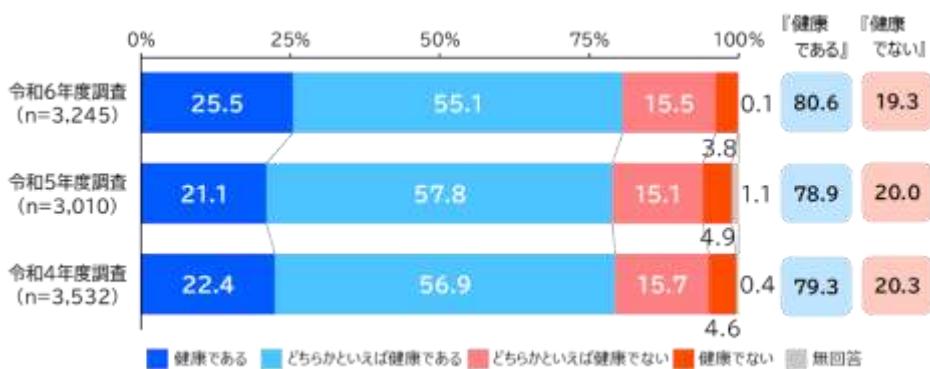


ふだんの生活について



【自分自身の健康】

自分自身の健康について、「健康である」と「どちらかといえば健康である」をあわせた『健康である』は、80.6%で、過去3回の調査の中で最も高い割合となっています。



【自分自身の人権感覚を高める意向】

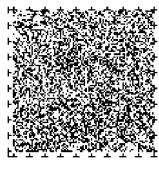
人権に対する感覚を高めたいと思うかについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた『思う』は、令和5年度調査からやや低下したものの、約6割となっています。

男女ともに、若い年齢層で『思う』の割合が高い傾向にあり、女性の15～30歳代、男性の15～17歳で、7割を超えています。



人権に対する感覚を高めるためにしたいこと

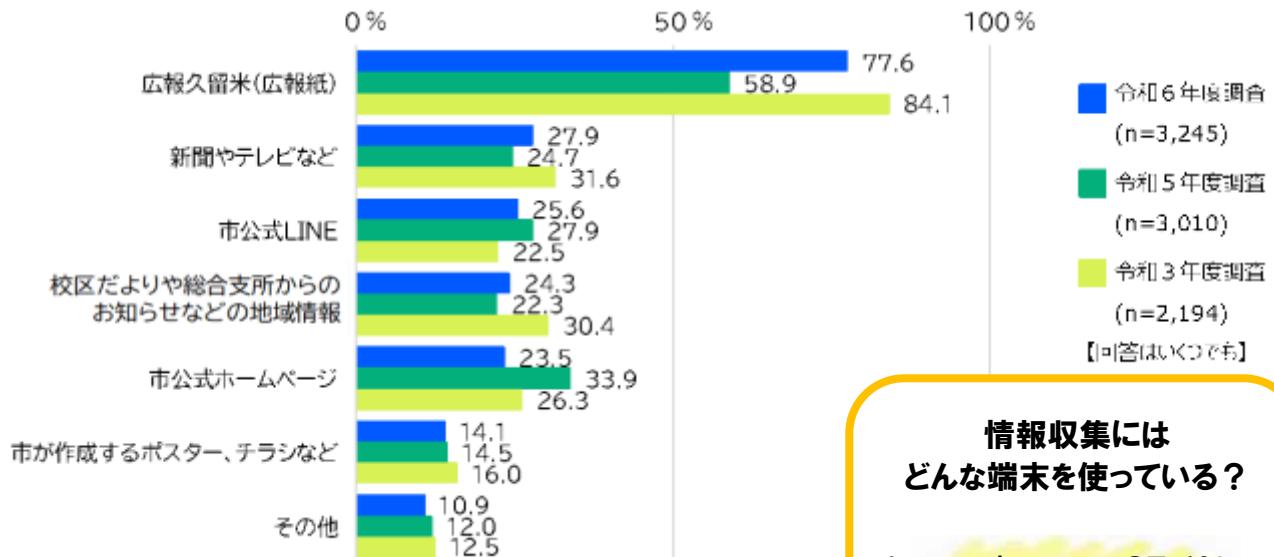
1. 市の広報紙やホームページで人権に関する記事を読む 49.6%
2. 家族や友人など身近な人と人権問題について話をする 34.3%
3. 職場の講座や研修に参加する 22.2%



市の情報発信について

【市政情報の入手先】

市政情報の入手先について、「広報久留米(広報紙)」が最も多く、令和5年度調査から 18.7 ポイント増加した 77.6%となっています。



情報収集にはどんな端末を使っている？

- スマートフォン 87.6%
- パソコン 33.3%
- タブレット端末 13.3%

【久留米の魅力】

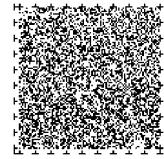
久留米の魅力については、「ラーメン、焼き鳥など多彩なB級グルメ」、「充実した医療環境」、「野菜、フルーツなどの豊富な農産物」が令和3年度に続き上位3位を占めています。

「充実した医療制度」と「野菜、フルーツなどの豊富な農産物」は高い年齢層で割合が高く、「ラーメン、焼き鳥など多彩なB級グルメ」は若い年齢層で割合が高くなっています。

久留米市の魅力

(%)

	令和6年度調査	令和3年度調査
ラーメン、焼き鳥など多彩なB級グルメ	33.9	25.0
充実した医療環境	18.6	22.2
野菜、フルーツなどの豊富な農産物	16.8	18.5
豊かな自然	10.6	13.2
道路や交通の利便性	3.5	3.9
美術館やシティプラザなど文化・芸術に触れられる施設	2.6	2.8
その他	7.8	7.6
特ない	5.5	5.3



かんきょう 環境について

【住んでいる周りの環境の満足度】

住んでいる周りの環境の満足度について、「おおむね満足」が 50.8%と最も高く、「満足」が 11.4%で、これらを合わせた『満足』は 62.2%となっています。「不満」は 4.8%、「やや不満」は 10.6%でこれらをあわせた『不満』は 15.4%です。平成30年度と比べ『不満』の割合は、14ポイント減っています。



【住んでいる周りの環境の具体的な事柄の満足度】

満足上位項目

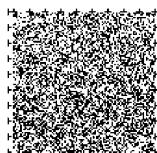
- 里山や農地、森林などの緑の豊かさ 83.2%
- 公園や街路樹などの緑の豊かさ 78.5%
- 市街地と自然のバランス 77.5%
- ごみ処理の状況 76.0%
- 昆虫や魚、鳥などの自然の生き物の状況 70.0%
- 街並みなどの景観 70.0%

▶ ブロック別では、里山や農地、森林などの緑の豊さは、東部B(田主丸)が 89.2%、公園や街路樹などの緑の豊かさは、北部A(小森野・合川・宮ノ陣)が 84.0%と最も『満足』の割合が高くなっています。

不満上位項目

- 川や池などの水質や水辺の状況 38.2%
- 大気や騒音、振動などの状況 37.6%
- 環境教育、環境に関する情報の得やすさ 31.7%

▶ ブロック別では、川や池などの水質や水辺の状況は、西部 A(城島)が 56.3%、大気や騒音、振動などの状況は、中央部(莊島・日吉・篠山・京町・南薰・長門石)が 48.1%と最も『不満』の割合が高くなっています。

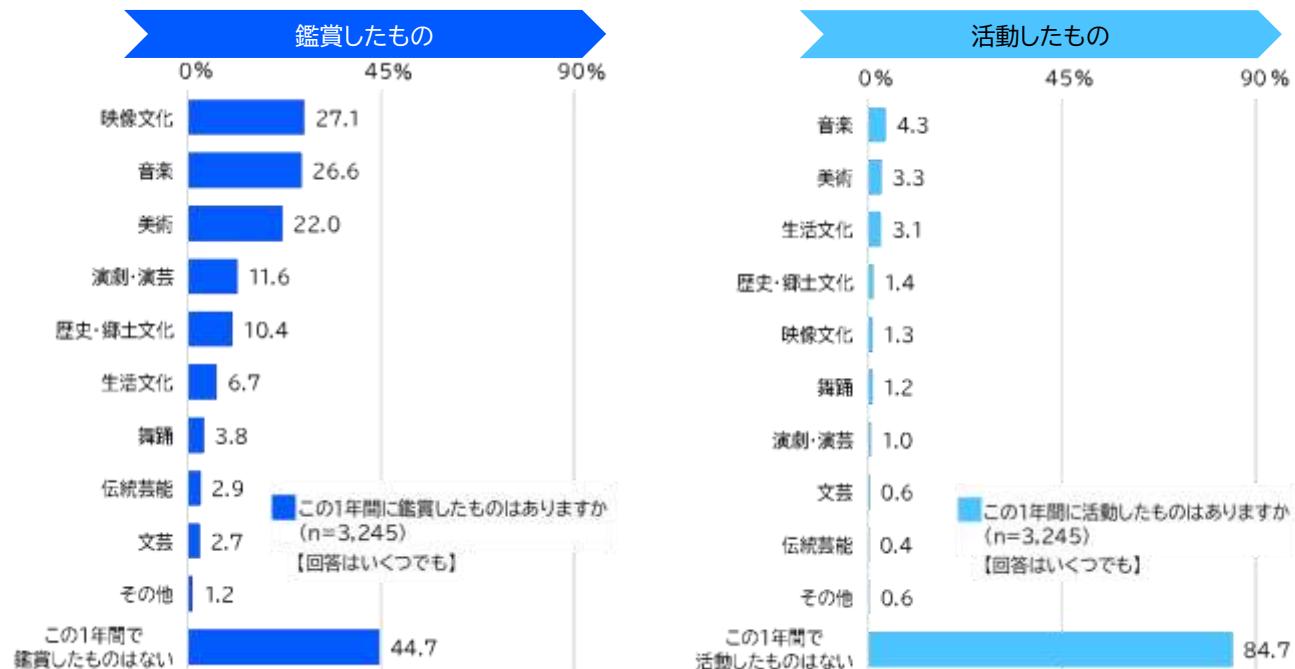


文化・芸術の鑑賞や活動について

【文化・芸術の鑑賞・活動状況】

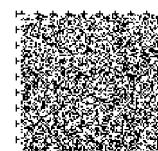
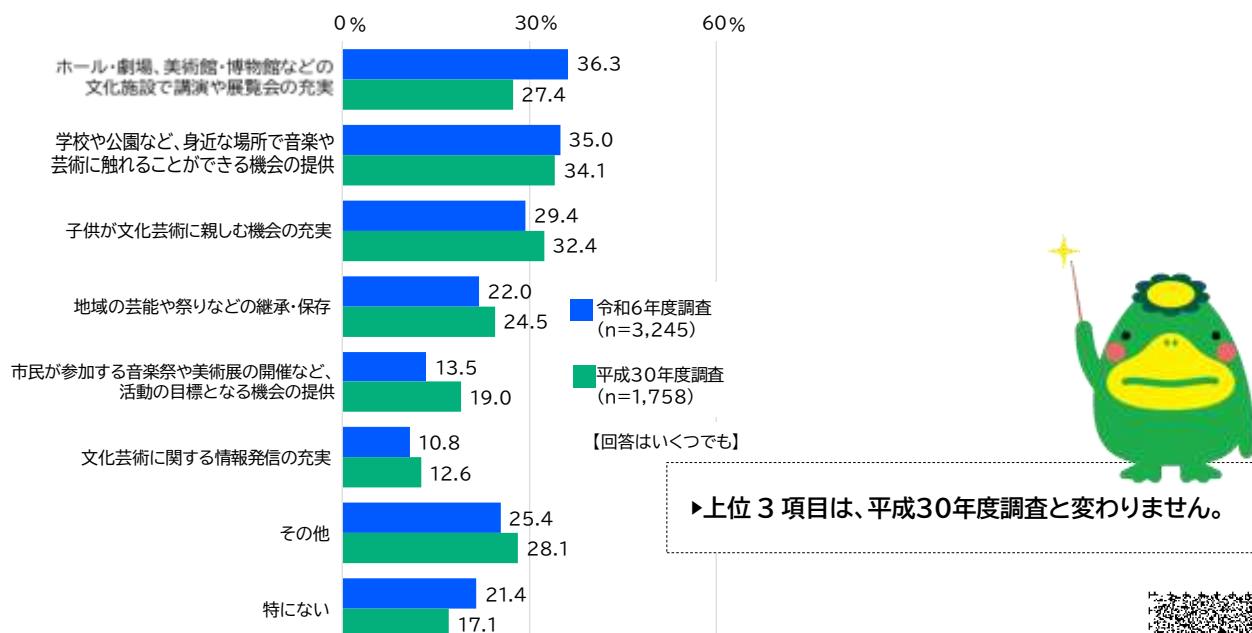
この1年間に鑑賞したものは、「映像文化(映画、映像美術など)」、「音楽(ポピュラー、クラシック、邦楽など)」、「美術(絵画、書、彫刻、写真、工芸など)」が上位となっています。

この1年間に活動したものは、「音楽(ポピュラー、クラシック、邦楽など)」、「美術(絵画、書、彫刻、写真、工芸など)」、「生活文化(茶・華道、フラワーアレンジメント、手芸など)」が上位となっています。



【文化・芸術のまちづくりのための取り組み】

文化・芸術のために力をいれるべき取り組みは、文化施設での公演や展覧会の充実が36.3%と最も多く、平成30年度調査から8.9ポイント増加しています。



こころの健康について

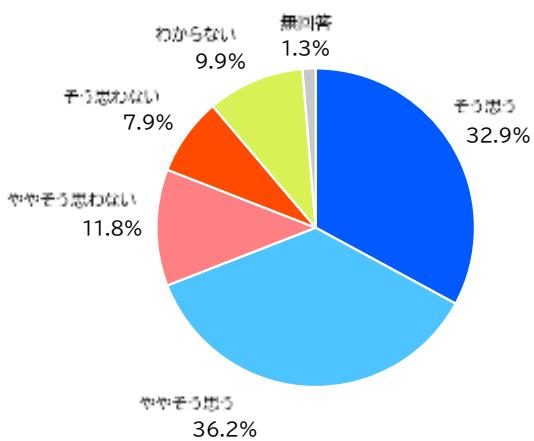
【相談や助けを求めるこことへのためらい】

不安や悩み、ストレスを抱えた場合、誰かに相談したり、助けを求めたりすることに、ためらいを『感じる』割合は、39.6%。

『感じる』割合は、女性では、15歳～50歳代、男性では30歳～50歳代が高い傾向にあります。



【自殺はその多くが防ぐことができる社会的な問題であるということについての考え方】



自殺は、その多くが防ぐことができる社会的問題であるということについて、「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『思う』は、69.1%となっています。

《発行》 令和7年3月

《お問い合わせ》【編集・発行／調査主体】久留米市協働推進部広聴・相談課

久留米市城南町15-3

TEL 0942-30-9015 FAX 0942-30-9711

E-mail sodan@city.kurume.lg.jp

※報告書および概要版は久留米市ホームページに掲載いたします。

<https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2140soudan/3020kouchou/ishiki.html>

